

# UBIC VOL.4 NEWS



## 特集

法人化によって新たにUBICが目指すもの

敷居の高さ ————— P.2

戦略大学経営と産学のイノベーション ————— P.3

共同研究事例-オカラ乾燥機の流体解析- — P.4

大学の知的財産権活動 ————— P.5

産学イノベーションセンター研究開発室から

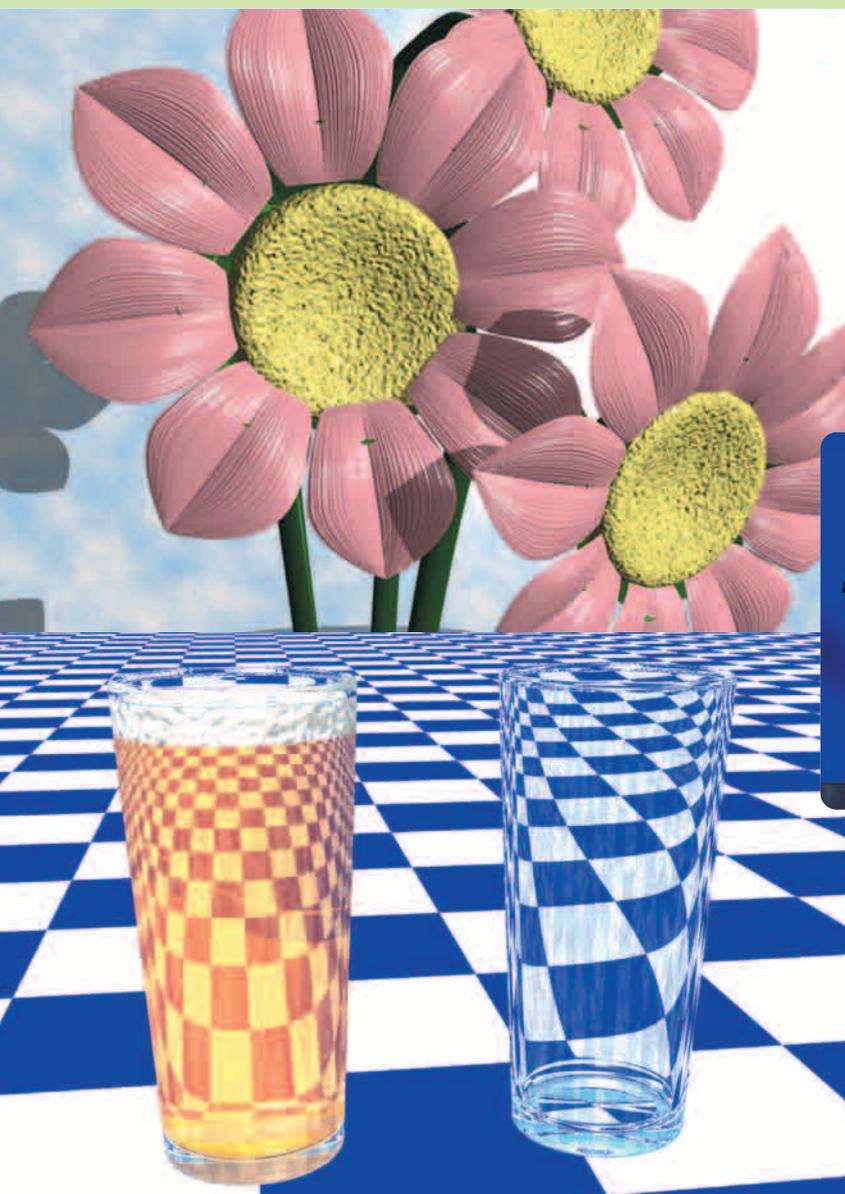
株式会社デザイニウム ————— P.7

会津大学発ベンチャー企業紹介

有限会社QRS ————— P.10

## UBIC-INFORMATION

活動報告/講習会のご案内/ご利用案内 — P.12



会津大学産学イノベーションセンター

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀字上居合90

TEL : 0242-37-2776 FAX : 0242-37-2778

E-Mail:ubic-adm@ubic-u-aizu.pref.fukushima.jp

平成17年度

3DCG作成セミナー受講生作品

会津大学産学イノベーションセンターのインターネットホームページアドレス

<http://www.ubic-u-aizu.pref.fukushima.jp>

# 法人化によって新たにUBICが目指すもの

## 敷居の高さ

産学連携の役目を会津大学で拝命して既に三年半経過した。この仕事でいつもコメントを言われるのが「大学は敷居が高い」ということである。私は、この敷居の高さを共通の話題がないことにあるのではないかと常々思っている。私自身が始めて会津大に赴任して、当然先生方の研究内容を理解しないと産学連携が進まないの、各研究室にお邪魔した。自分が馴染んでいる分野の先生のところには結構気楽にいける。相手が何か話し始めても何とか言いたいことについていけるからである。従って、敷居の高さは共通の話題があるか否かに関わるのではないかと考えた。ところで以前いた会社に産業医として東大の助教授の先生が見えていた。疫学では高名な先生である。先生が若いとき、アルバイトで長期に船に乗り船員の医療を担当した。その時先生が必要だと思ったのが、相手の目線に合わせて相談に乗ってあげる必要があるということであった。このようなお話を考えると、産学連携の立場にあるものとして、地元の方と会う場合に相手の目線に合わせ、更に何か共通の話題を持てるようになりたいと思ったしだいである。そんな時に、ひょんなことから知事がスローフードでイタリアの副会長に会うときに私が隣に座ってしまった。話が進んでいくうちに、福島県でも県レベルのスローフードの活動が必要であろうとのところまで話が進み、何故か隣にいた何も知らない私がお引き受けする羽目になった。ただ、これもいろいろな方との共通の話題にもしかしたらなるのではないかという期待はあった。

その際に考えたのが、会津大の四大ではCGを使って車の輝きをデザインしてみたり、漆器に更に応用したりして研究している先生がいたこと、また短大には食物科がある、更にはお付き合いを増していた酒、漬物などの製造を行っている方々のサポートを勝手に期待して何とかなるかと思い開始した。周りの皆さんにはかなりのご迷惑をかけてきたが、その過程の中で、様々な地元の方との暖かい交流を図れるようになって来た。例えば、年末に金山の食堂を経営している女性から突然電話があり、ものを買ったがマニュアルが英文で良く分からない、何とかして欲しいといわれて周りの人とお手伝いをした。ダンボールに自作の納豆を頂き大変感謝した。

このような活動が気に入られたのか、会津若松市長より、学長になってもスローフード連絡協議会の会長を辞めてはいけないと言われ、今思案中という状況である。

「敷居が高い」という言葉を別の角度で見ると、会津の若いベンチャーが東京の市場に入っていくとどうしても距離を感じる。また、ベンチャーと言っても、会津大の歴史が13年ということで、ベンチャー経営者間の年齢の差も距離を生んできつつある。

UBICにとっては、これらも大きな「敷居が高い」という新しい課題であろうと捉えている。東京市場のニーズを知っている人の紹介、ある程度多様化し始めた会津地域のベンチャーに対するきめ細かい配慮など次々と課題が出てくる。4月の法人化を迎えて、更に地域に貢献する努力を続けていく所存であります。今後とも皆様のご指導をお願いいたします。



会津大学副学長・産学イノベーションセンター長  
角山 茂章

## 戦略的大学経営と産学のイノベーション

### 1. 独立行政法人とは

平成18年4月から、国立大学に引き続き、福島県立である当大学も独立行政法人化を迎える。独立行政法人とは、イギリスなどの諸国で起こった行政改革手法NPM(New Public Management)の中のAgencyという考え方である。現在各地で起こっている病院などの公共機関建設の際の、民間の資金と経営手法を導入するPFIも、NPMの手法の一つである。NPMの思想の根底は、官の領域に市場原理を導入することで効率化を図るということである。つまり「民間で出来ることは民間に」、「公共政策の企画は官で、運用は民、モニタリングは官で」、「統制のとれた（ガバナンスの効いた）組織体」、「統制の価値基準を上司から顧客（住民）へ」といった発想である。その結果公組織体も民間組織体とのサービス競争に参画することになる。しかし税金などの公的資金が投入される限り、公共のための目的が必要である。株式会社のように利益のみを価値判断にできるのと違って、利害関係者も多いので、極めて高度な経営能力を求められるのである。

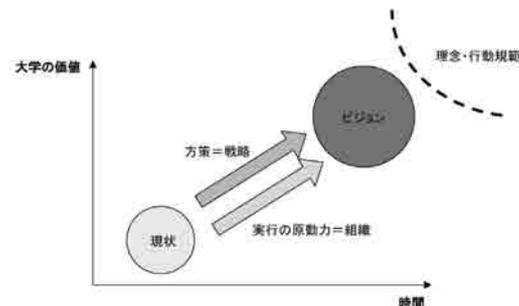


会津大学産学イノベーションセンター  
客員教授 田中 伸明

### 2. 組織の経営

経営のためには戦略が必要だ（図1）。その組織の持つビジョンと現状の差、これが現状の課題であるが、この課題を解くために戦略を創る。この戦略を実現する仕組みが、組織なのである。これまで独法化のために財務処分を作り、企業会計原則を導入するのは、経営組織体としての基盤造りであるが、独法化になったら組織戦略が最も重要で、その戦略作りにはビジョンが最も重要なのである。

図1 戦略の位置付け



### 3. 会津大学のビジョン

会津大学は、日本で初めての「国際競争力のある大学」という戦略的コンセプトで出来たものである。そのため従来の日本の大学と違った教育、研究で、他大学との差別化に成功してきた。つまり当大学には、明確なビジョンがあるのである。県立ということもあって「地域に貢献する大学」も大切なビジョンでもある。さて組織の評価は、そのアウトプットで評価される。会津大学のアウトプットは何か？というと、それは3つ。一つは社会的競争力、社会貢献できる卒業生。二つ目は国際的評価を受ける基礎、応用研究論文。最後は、かなり現実的な成果物であるが、研究最終成果としての商品、起業である。これが私達の産学イノベーションセンターの役割そのものなのである。

### 4. 産学イノベーションセンターと

独立行政法人となった当大学は、国立大学・公立大学や私立大学と競争環境を同じで、最後は大学組織のアウトプットをもって評価されるのである。つまり最終アウトプットでもあるイノベーションやベンチャーの育成、成長が重要で、その戦略実行組織が、産学イノベーションセンターなのである。今回の独立行政法人化は、産学イノベーションセンターにとって、最も力を発揮できる、もしくは力を発揮しなくてはならない状況が来たと考え、その成果物により会津・福島地域の発展に貢献できると信じている。今後更なる学内外の皆様のご支援とご協力をお願いしたい。

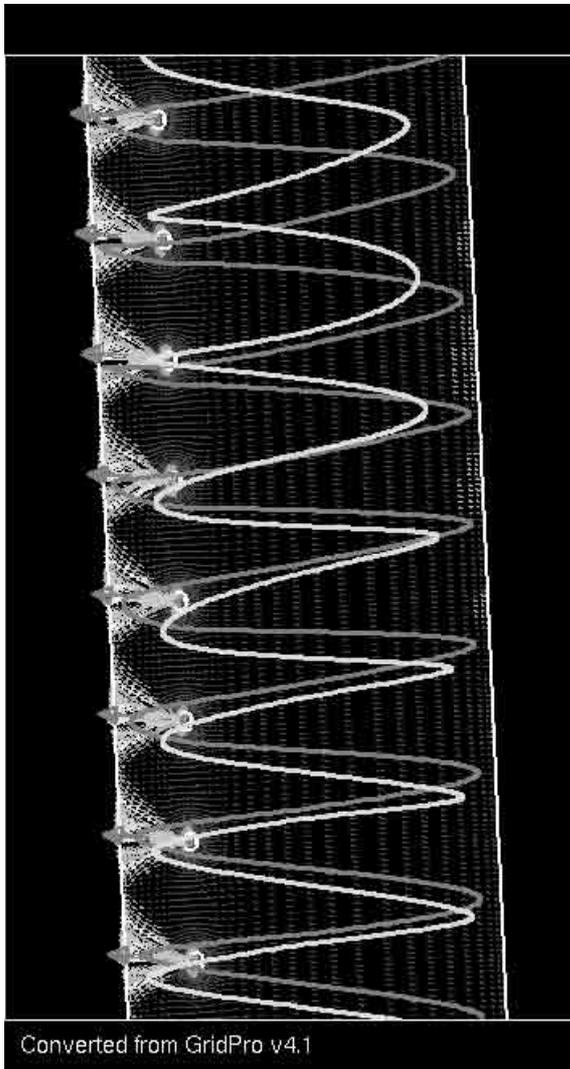
## 共同研究事例 —オカラ乾燥機の流体解析—

私が会津大学に着任してから3年が経過し、少しずつではあるが、企業と会津大学との共同研究の成果が出始めている。この紙面を借りて成果を皆様に紹介したい。今回は共同研究事例として「オカラ乾燥機の流体解析」を取り上げる。

オカラは豆腐を製造する際に出る大豆の絞りかすだ。日本で発生するオカラの量は年70万トンと言われている。日本人が1人1日平均20グラムのオカラを食べれば問題はないのだが、オカラのほとんどは産業廃棄物として処理されている。中小企業が多い豆腐業界ではオカラの産廃処理は経営を圧迫している。オカラは栄養に富み水分を含み腐敗しやすいので産業廃棄物業者も取扱いに困っていた。



産学連携コーディネーター  
本杉 常治



解析の一例

福島市の電子機器メーカー(株)アストラの一条社長は、オカラを乾燥させれば処理が楽になると考え、オカラ乾燥機を試作した。乾燥機は円筒状で、円筒下部から上方にさらに側面から円周方向に熱風を送り込んで竜巻を発生させ、これにオカラを乗せて乾燥させる。オカラが円筒内に長時間滞留するような竜巻が望ましいのは言うまでもないが、このような竜巻を発生させるのは困難で、試作機一号機は試行錯誤の繰り返しの結果得られたものであった。一条社長は小型二号機試作に当たって試行錯誤の繰り返しを避けるために竜巻発生のための流体解析を望んでいた。社長の抱える問題を数値解析を専門とする本学の浅井講師に持ちかけたところ、福島県内の企業のためになるのなら喜んで協力しましょう、と快諾を得た。一条社長と浅井講師の綿密な打合せの後、解析が始まった。解析結果によれば、竜巻の状態は下部、側面からの風の流量に強く依存し、社長が試行錯誤の過程で経験した竜巻の状況を良く説明するもので、解析結果は設計指針として十分なものであった。このようにして得られた設計指針に基づき(株)アストラでは小型二号機の試作をすすめている。

# 大学の知的財産権活動

大学における知的財産の取組みは、全国的な規模で進んでおります。国立大学はもとより、公立大学、私立大学の多くに、知的財産の推進を図る機関が設置され、体制作り、啓蒙、権利化の促進などが拡充されてきております。

知的財産をめぐる活動は、大きく三つに分かれます。図1のように知的財産の創出、知的財産の獲得、知的財産の活用です。

## ■ 知的財産の資産価値の認識

第一番目の知的財産の創出は、知的財産の価値を明確に認識し、知の創造拠点を作ることです。大学の研究の成果を知的財産として認識することともいえます。研究の成果を権利として認識し、産学の連携にあたって技術を保護する意識を常にもつことともいえます。

会津大学では、全国的にも初めて学内研究費に「知的財産枠」を設け、特許などでの権利化を促進する体制を確立しています。従来から盛んに実施されていた学会などにおける論文投稿や研究発表による、学術発展に対する貢献に加え、産学連携を前提とした知的財産による成果の保護を図る活動です。多くの教員、学生が限られた時間の中で、学会発表と知的財産による資産価値を高めるための行動を起しております。



知的財産管理アドバイザー  
重田 暁彦

図1 会津大学の取組み

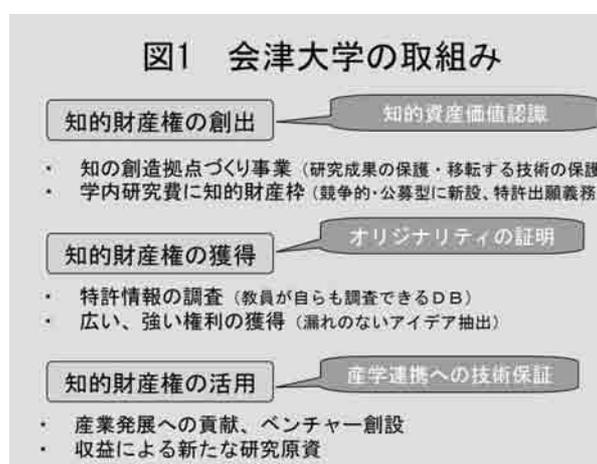
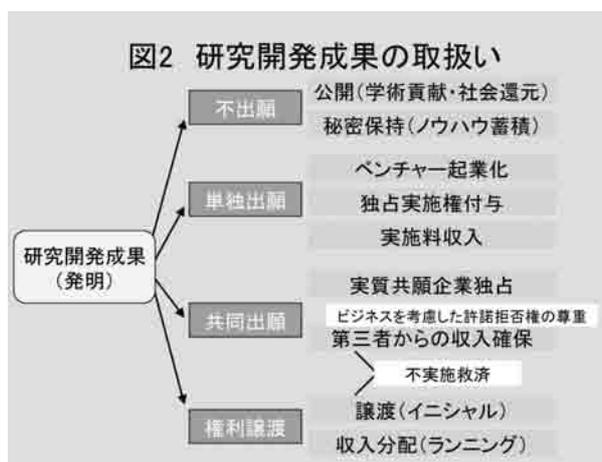


図2にあるように、研究成果を見極め、成果の種類によっては、公開し、学会活動を通して、学術の発展への貢献、社会への還元を行ないます。共同研究や受託研究の内容によっては、秘密に保つことが必要な場合も出てきます。大学の研究の社会貢献という立場では、なるべく発表したいのですが、少なくとも一定の期間は秘密の保持をせざるを得ません。また、発明への貢献に応じ、大学の単独出願とするか、企業などとの共同出願にします。さらに必要に応じて、権利を譲渡することも考えられます。

図2 研究開発成果の取扱い



## ■ 知的財産権の取得

知的財産権の取得は、主に特許権を取得する活動になります。

# 大学の知的財産権活動

特許出願にあたっては、他に同様な権利を取得しているか、取得しようとしている発明が世の中にないか特許調査を実施します。学内のどこでも教員自らが調査できるようなデータベースを導入しています。研究成果のオリジナリティーを立証する意味でも、研究開始前や特許権の取得に先立つ調査は重要になります。

さらに広く強い権利化を図るために、漏れのないアイデアの抽出を図ります。発明に関連する機能を総て網羅的に洗い出し、発明を完成させるための展開分解思考を提案しております。(図3)

発明はある課題・目的をもって生まれますが、課題を解決するための一部の手段を思いついて、明細書の記載をしてしまうケースが見られます。解決手段のポイントとなるアイデアや発明は表現されているが、他の要素との関係、次なる工程や手段との関係までは描き切れていない発明が少なくありません。

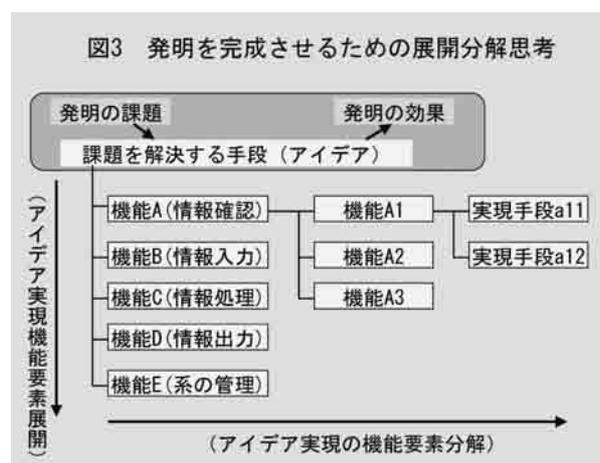
こうした発明を機能別に展開するのです。当初思いついた発明が図3の機能C(情報処理)であったとすれば、その情報の入力(機能B)はどうなっているか、その前段階の情報の確認(機能A)、後工程の情報の出力(機能D)、全体の管理(機能E)といった展開を行ないます。ここでは発明の全体への波及や、どこまで考慮すべきかなどが洗い出せるのです。そして次の段階として、展開した機能ごとにさらに実現手段や構成要素となる機能を洗い出すこととなります。こうすることにより、当初の発明をめぐる要素を網羅的に捉えることができるのです。

実際の出願内容としては、機能Aから機能Eまでを網羅した全体の形で特許化すべきかどうか、各機能(例えばA1からA3)ごとに技術思想化して明細書に盛り込むべき構成を表現すればよいのです。

このように機能で展開し、アイデア実現手段を詳細に所望の機能ごとに、要素分解して、各発明を洗い出すことで、全体的な課題や解決策が出てきて、企業であれば、当然考慮される製品の供給だけでなく、設計、製造、試験といった一定の工程を意識して発明がなされることを机上で検討してもらいます。

## ■ 知的財産権の活用

第三番目が知的財産権の活用です。産学連携を目指した活動で、当然のことながら、知的財産権を産業界に活用してもらうことが重要です。大学の研究成果が産業の発展に貢献できることが大切です。さらには新たな産業の創設を目指し、ベンチャー企業を創出することも目指しております。こうした活動を通して得た収益が、新たな研究の原資になれば望ましい活動となります。



## 会社概要

- ・ 名 称：株式会社デザイニウム (The Designium)
- ・ 本 社：福島県会津若松市一箕町亀賀郷之原57-5東邦マンション306
- ・ 連絡先：Tel/Fax 0242-25-5315
- ・ E-Mail：info@thedesignium.com
- ・ U R L：http://www.thedesignium.com/
- ・ 設 立：2005年2月8日 (2005年4月1日営業開始)
- ・ 社員数：5名

## 事業内容

- ・ 広報・プロモーション用コンテンツの企画、制作、コンサルティング  
(戦略的なウェブサイトの活用、CMやその他紙媒体を絡めたメディアミックス)
- ・ オリジナルコンテンツの企画、制作  
(携帯コンテンツ制作、キャラクター開発、コミュニティ/ポータルサイト運営)

## 産学協同研究について共同研究パートナー

Carl Vilbrandt (カール・ビルブランド)  
元会津大学コンピュータ芸術学講座 助教授



- ・ 研究内容
  - (1) 携帯Flashを用いた汎用型ムービーコンテンツ“wevy (ウェビー)”の開発
  - (2) 会津の地域資産を活かしたコンテンツの研究開発

### 産学イノベーションセンターでの研究開発について

弊社は昨年より法人として活動を開始した会津大学発のコンテンツ系ベンチャーです。設立メンバーは大学在籍当時より個人的な活動に加え3Dゲームやメディアアートプロジェクトに携わり市制100周年記念イベントや福島未来博へ出展したほか、4年がかりで30分弱のフルCGアニメーションを制作するなど、コンピュータを研究する大学にあって特にその用途、つまりツールであるコンピュータを何に使うのかという部分を様々なコンテンツの制作を通じ、CGによる「表現」とインタラクティブな「共感」という点で追及してきました。

今回共同研究を行ったビルブランド助教授は、実務としての研究開発を行うエンジニアとして、また、物の本質を捉えそれを様々な手法で表現するアーティストとして世界で活動してき

## 産学イノベーションセンター研究開発室から

た経歴を持ち、最もコンピュータを創造的に活用するであろう双方の立場からコンピュータを活かすための知識・技術・目的を併せ持つ方です。

さらに見逃せない要素として学生の役割がありました。学問的・論理的であることが適当とされる大学の中において、彼の元が集まってくる、会津大学生として技術をベースに持ち、それをクリエイティブな領域で活かそうとする学生は弊社の持つ課題のクリアのために非常に重要なリソースです。学生らとの率直な意見交換やUBICの設備を活用し実際の作品の制作を行う中で、テクノロジーとアート&デザインの融合によるコンテンツの研究開発として一定の成果を得ることができました。

なお、ビルブランド助教授は昨年12月をもって会津大学を退職され、チリでのITとアートの啓蒙と普及のため南米へ移住されましたが、弊社は今後も継続してコンピュータと大学に与える目的の一つとして付加価値の高いコンテンツに対する研究開発と啓蒙を進めていくつもりです。

### “wevy（ウェビー）”の展開について（プレスリリース）

wevy（ウェビー）はインターネット上で最も広く普及・認知されているFlashフォーマットを用い、第3世代以降の携帯電話上で待ち受けアニメ、着信アニメとして使えるよう制作されたショートアニメーションコンテンツ群です。

無料の勝手サイト（キャリア公式サイトに対して独自に運営するサイトを一般にこう呼びます）として <http://wevy.jp/> を運営しており、2005年4月のオープン以来400本以上のFlashムービーを公開し10万件のダウンロードを得ました。現在は月15000件程度のダウンロードで推移しており、ゼロからのスタートから一般のユーザによる一定の評価を得たと考えております。

Flashコンテンツの特徴として、ベクターデータ形式による解像度フリー、ワンソースマルチユースの概念に基づくプラットフォームフリーがあり、そのメリットを最大限に生かすべく今後は様々なプラットフォームやメディアの上に転用し2次利用を進めていく予定です。

具体的には400以上公開されているwevy.jp上のムービーコンテンツを、既存の待ち受けアニメとしてのクール・ポップ・ダーク…と言ったジャンルからキャラクターやストーリー作品と言った形で分類し、目的やプラットフォーム、メディアとしての特性に合わせる形で分離独立し新しくサービス化することを考えております。また、携帯向けFlashコンテンツ制作のノウハウを生かし、新たな広告手法としての企業との提携や、純粋なコンテンツとして以外の活用形態として商品のパッケージデザインとしてのご提案を頂くなど、デザインリソースとしての応用にも可能性を感じています。

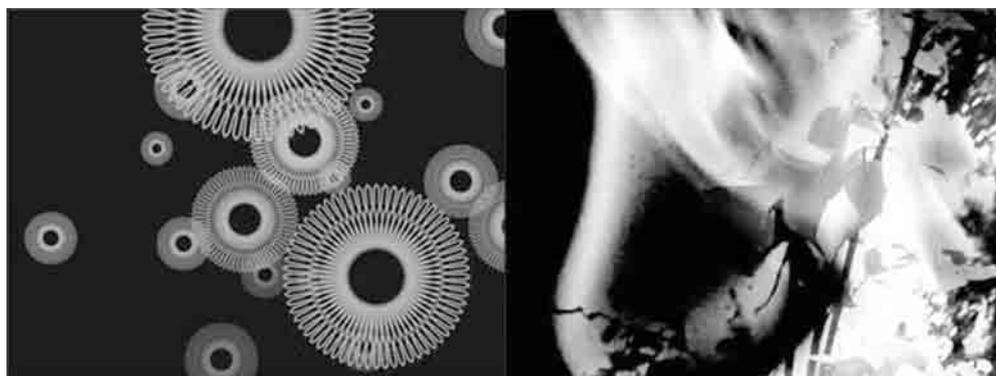
- ・ 今後展開の対象とするプラットフォーム  
新規参入キャリアの携帯端末、Video ipod、PlayStationPortableなど
- ・ ジャンルごとの展開  
独立サイト化、広告制作、着メロやキャラクターサイトとの提携など
- ・ デザインリソースとしての可能性  
TVジングル、ブログスキン、パッケージ（ケース、ラベル、紙媒体）など



## その他成果報告

- ・ 会津漆器の意匠をモチーフにしたモーショングラフィックス制作

会津漆器の伝統的な意匠である“網絵”のシンプルな美しさに惹かれ、軽快な線の動きで見せるCGアニメーションを制作しました。wevyとの連携で携帯用ムービーも公開されており、今後“朱磨き”や“会津塗り”バージョンも制作する予定です。このような地域に眠る資産にスポットを当て、会津大学の教授・学生と連携して様々な媒体へ向けたアレンジと展開を積極的に考えていきたいと思っています。



## 最後に

デザイニウムは“Design & Contents for your Branding” キャッチコピーに、会津大学で培ったITをベースとして、有形無形を問わず個人、組織、地域全体の持つコンテンツの原石を磨き上げ強固なブランドとして発信していくサービスを提供して参ります。

# 会津大学発ベンチャー企業紹介

会社名 有限会社QRS  
代表者 魏 大名  
住所 〒965-0871  
福島県会津若松市栄町2-14  
レオクラブガーデンスクエア5階  
TEL : 0242-37-2602 FAX : 0242-37-2728  
URL : <http://www.qrs-corp.jp> E-Mail : [dm-wei@qrs-corp.jp](mailto:dm-wei@qrs-corp.jp)



## 会社設立と設立者

2005年3月に資本金300万円で設立。

代表取締役の魏 大名（ウェイ・ダミン）は会津大学コンピュータ理工学部の教授である。メディカルITの専門家、企業経験者である大学人、Trilingual（中・日・英）の国際派。

## 歩み・理念

会社名としてQRSを選んだのは、長年に渡って創業者が持ち続けてきた「ひとつの想い」からだ。それは、命をテーマとして医療の大切さを一番理解する創業者が持ち続けてきたものである。特に「心電図処理技術」当社の代表的技術である。この心電図の波形の名前が「QRS」なのだ。

創業者の会津大学の魏大名教授は、心臓のコンピュータモデルと心電図のシミュレーション研究で有名である。そして基礎的技術から実用技術まで幅広い研究成果を得ている。近年は、この基礎研究を土台として遠隔医療、在宅医療（e-Health）などの分野で実用的な技術を開発してきた。



当社は、2005年に福島県立会津大学の大学発ベンチャー企業として発足し、いままでの培ってきた研究の成果を活用し、事業化を成功させて大きな社会貢献を達成したいと考えている。

さらに当社の経営理念は、“小さな種で世界ナンバーワンになること”である。そしてビジネスパートナーを世界中に求めて皆様とともに成長する企業になっていきたいと願っている。

## 事業内容

- ・医療情報技術の研究開発（自主研究・公募研究・委託研究・共同研究・OEM・ODM）
- ・ビジネスモデルの共同開発
- ・知的財産の共同開発・管理・運営
- ・国際ビジネスのコンサルタント

### 【主な関連技術】

- ・導出12誘導心電図技術
- ・加算不要筋電除去心電図フィルタ
- ・付加誘導心電図導出技術
- ・携帯電話イベント心電計
- ・在宅、遠隔医療、救急用テレモニタ
- ・心電図シミュレーション技術と電気生理学的訓練用バーチャルEPラボ

### 【主なプロトタイプ商品】

- ・ホームケアサービス業務支援システム
- ・導出12誘導心電図テレモニタ
- ・ホームケア用テレコンファレンスシステム
- ・心臓モデルと心電図シミュレーションシステム

# 導出12誘導心電図テレモニタ (会津産IT技術大賞受賞)

4誘導心電図(I, II, V2, V4)を収録し、無線で(Bluetooth規格利用)クライアントとしてのモバイルPCか、3G携帯電話へ転送し、ベッドサイドモニタを実現する。



PHS/FOMA/LANを経由して、ホームケアステーション/医療センタへ転送し、遠隔モニタリングを実現する。



サーバーにおいて、4誘導心電図から標準12誘導心電図を導出し、12誘導心電図モニタを実現する(米国特許第6721591号、日本特許出願中)。



4誘導心電図を測定、転送



12誘導心電図を構成、モニタリング

## 【アピールポイント】

急性心筋梗塞を早期的に診断するため、12誘導心電図は不可欠である。しかし、12誘導心電図は10電極を装着する必要があるため、救急、在宅、在院など利用できない場合がある。本技術は、少数誘導による標準12誘導心電図モニタを遠隔で実現できる。

【応用】救急医療システム、在宅看護システム、院内モニターリングシステム、スポーツ機器など

【ビジネス形式】技術協力、技術提供、OEM等



# 会津大学産学イノベーションセンター UBIC INFORMATION

## 活動報告

### クラブ活動紹介ホームページ作成基礎講座

10月から12月にかけて、小学生を対象に、クラブ活動紹介ホームページ作成基礎講座が行われました。ホームページの作成を通じて、より多くの人が容易にアクセスできるように情報の分野におけるユニバーサルデザインを推進することを目的として開催しました。小学生自らが所属するクラブ活動の状況を自らデジタルカメラ等で撮影し、ホームページを作成のうえ母校のホームページにアップし情報発信を行いました。



## 募集

センターでは、下記の講習会を開催します。

### 1 産学イノベーションセンター講習会

#### 3 DCG作成セミナー

- ◆日時：平成18年7月25日(火)、26日(水)、27日(木)、28日(金)  
4日間コース、各日とも10:00~16:00
- ◆場所：会津大学産学イノベーションセンター セミナールーム
- ◆内容：3次元コンピュータグラフィックス(3DCG)作成ツール「Shade」を使用して、簡易なCG映像制作技術を習得します。「Shade」の基本的な操作法を学び、実際にコンテンツを作成します。
- ◆受講料：4,000円
- ◆定員：20名
- ◆申込期限：平成18年7月7日(金) 必着

#### イントラネット基礎セミナー

- ◆日時：平成18年9月13日(水)、14日(木)、15日(金)  
3日間コース、各日とも10:00~16:00
- ◆場所：会津大学産学イノベーションセンター セミナールーム
- ◆内容：イントラネット構築のためのLAN等の基礎技術を習得します。ネットワーク技術や各種サーバーの役割を学びます。
- ◆定員：20名
- ◆申込期限：平成18年8月25日(金) 必着

#### プログラミング入門セミナー

- ◆日時：平成18年11月15日(水)、16日(木)、17日(金)  
3日間コース、各日とも10:00~16:00
- ◆場所：会津大学産学イノベーションセンター セミナールーム
- ◆内容：Javaを通して、プログラミングの基礎を習得します。Javaの特徴及びJavaプログラミングの基礎を理解し、Java2SDKのセットアップからJavaプログラムを実行するまでの一連の流れを学び、実際に簡易なJavaプログラムを作成します。
- ◆受講料：3,000円
- ◆定員：20名
- ◆申込期限：平成18年10月27日(金) 必着

### 2 ワンデー・トライアル

- ◆日時：未定
- ◆場所：会津大学産学イノベーションセンター セミナールーム
- ◆内容：日頃から、産学イノベーションセンターのシステムを使ってみたいとお考えの方、使ってみたいが使い方がわからないという方を対象に、センターのシステムの1日体験ができます。
- ・3DCG作成コース  
Shadeを使って、3次元コンピュータグラフィックス作成を体験できます。
- ・デジタルカメラ編集コース  
Photoshopを使って、デジタルカメラから取り込んだ映像の編集ができます。
- ・デジタルビデオ編集コース  
Premiereを使って、デジタルビデオから取り込んだ映像の編集ができます。

などを予定しております。どうぞ、お気軽にご参加ください。

- ◆受講料：無料
- ◆定員：未定
- ◆申込期限：未定
- ※詳細につきましては、決定次第、別途お知らせします。

### センターご利用案内

- ・会津大学産学イノベーションセンターは、産学連携のコーディネートや共同研究や起業化のための各種情報を収集・発信し、地域・企業へ開かれた産学連携の総合窓口として機能しております。
- ・産学連携フォーラムの定例の実施により、企業と教員の交流の機会を提供します。
- ・IT関連の各種講習会を開催し、地域の産業界にIT関連技術の普及啓発を図り、新たなビジネス展開と地域産業の振興を支援します。
- ・最先端のシステムを低料金でご利用いただけます。スクリーンを使ったプレゼンテーションやセミナーの開催、CGやサウンドの制作・加工・編集、人体の動きの3DCG化などにご活用ください。

#### 開館時間

午前8時30分~午後5時(夜間利用承ります。要予約)

#### 休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始

#### 無料コーナー

一般見学、3D立体映像上映、ハイビジョン等上映、インターネット体験

#### 施設使用料

|                |          |          |
|----------------|----------|----------|
| 研究開発室          | 1室1年     | 420,000円 |
| 3Dシアター         | 1回       | 21,000円  |
| セミナールーム        | 1回       | 21,000円  |
| 運動解析ルーム        | 1回       | 15,750円  |
| サウンドクリエイションルーム | 1回       | 1,050円   |
| オーサリングルーム      | 1システム1時間 | 270円     |

※使用単位中「1回」とあるのは、次に掲げる時間です。

(1)8:30~12:30 (2)13:00~17:00 (3)17:30~20:30

#### メーリングリスト登録のおすすめ

会津大学産学イノベーションセンター各種講習会への参加・応募を希望される方は、住所・氏名、電話番号、E-Mailアドレスを明記の上、FAX、E-Mail等でご連絡いただければ、詳細決定後、こちらからご連絡させていただきます。なお、メーリングリストへはUBICホームページからも登録できます。